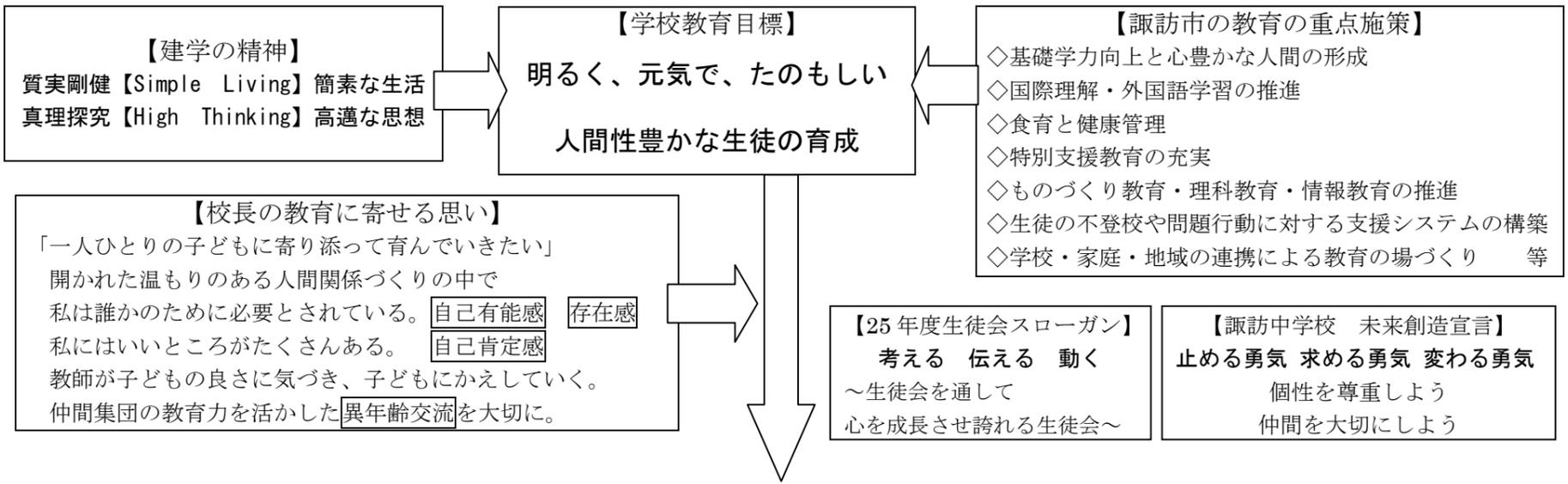


平成25年度 諏訪中学校 グランドデザイン



- 【めざす生徒の姿】**
- ① 知・情・意・体の調和のある、たのもし生徒・・・・
 - ② 自ら求めて伸びようとする、心の強い生徒
 - ③ 生命を大切にし、共に生きることに喜びを感じられる感性豊かな生徒
- ◇基礎学力の充実と自ら学び続ける力を育てる（知）
◇人を愛し共に生きることに喜びを感じられる豊かな心を育てる（情）
◇困難に負けず、やり抜く強い精神力を育てる（意）
◇たくましい身体と健やかな心を育てる（体）

本年度の重点目標と手立て

I 「わかった、できた」喜びが感じられ、力がつく授業の創造

1 授業改善の工夫

- ①「授業がもっとよくなる3観点」（ねらい・めりはり・見とどけ）を意識・活用して授業づくりをする。
- ②「言語活動の充実」を共通の視点・手立てにして、全教科・全校で実践研究を進める。
- ③授業だけでなく、多くの教育活動の場面で、生徒相互の関わりの中での学び合いを大切に、表現力やコミュニケーション能力等を伸ばす。
- ④生徒の評価（前期・後期の授業アンケート等）を生かして学習指導の改善を進める。

2 学習内容を確実に定着させるための工夫

- ⑤授業・家庭学習の仕方について具体的な指導（「授業オリエンテーション」・「学習アドバイス」等）をし、評価・見とどけする。
- ⑥個別指導や補充学習を充実する。
- ⑦各種検定を生かした補強学習指導をする。
- ⑧PDCAサイクル事業、NRT、クリア問題、チャレンジ問題等を使って学力実態をつかみ、効果的な学習指導を工夫する。

3 体力向上

- ⑨諏訪湖一周強歩大会（一校一運動）を生かした持久力・精神力の向上を進める。（「一人になれ、一人に耐えろ、おいていけ、おいていかれる」）

II 個と集団が共に伸びる学校づくり

1 父性と母性を大切にしながら、一人ひとりに寄り添った生徒指導

- ①生徒と教師の信頼関係を基盤にし、一人ひとりに寄り添った生徒指導を行う。
- ②生徒の心情に寄り添いながら、自己啓発と自己指導力の向上を促す指導を行う。
- ③常に弱者の立場に立ち、いじめや人権侵害には迅速に組織で対応する。

2 教職員の連携、保護者との協働を大切にしながら生徒指導

- ④校内の教職員での生徒指導情報の共有と、連携、組織的な対応を大切にする。
- ⑤Q Uを生かした学級経営や個別支援に関する校内研修を行う。
- ⑥保護者との丁寧な情報交換と共通理解の上で立った生徒指導を進める。
- ⑦情報モラル教育等、保護者との協働を大切にしながら取り組む。

3 節目に位置づけた行事や生徒会活動を中核にした質の高い集団づくりと個の成長への指導

- ⑧行事のねらい、育てたい姿を明確にし、異年齢交流の良さやキャリア教育の視点を生かして指導する。
- ⑨「合唱・清掃・校風（挨拶）」の三本柱や「上級生が教え、上級生から学ぶ」生徒会活動の伝統を大切にしつつ、さらに高める視点を示して指導する。

III だれもが明るく、元気に登校できる学校づくり

1 支援が必要な生徒の早期発見・早期対応、不登校・不適応の未然防止の学校づくり

- ①小中で移行支援に関わる情報を共有し、困り感のある児童・保護者と入学前後の懇談を進め、支援計画をつくる。
- ②毎週火・金曜の朝に生徒相談係会を開き、タイムリーな情報と方策を共有し、早期発見・早期対応を行う。
- ③相談窓口の保健室・相談室だけでなく、どの教職員も相談に関わる。
- ④ユニバーサルデザインの授業づくりを進め、すべての学級における集団と個への適切な指導・支援をめざす。

2 校内外のチーム支援と連携の体制づくり

- ⑤生徒相談係が校内のチーム支援の中心になって機能する。
- ⑥校内中間教室運営委員会が登校支援の中心としてさらに機能する。
- ⑦個に応じた支援のために、「登校支援シート」、「特別支援が必要な生徒への個別指導計画」作成と更新を行う。
- ⑧スクールカウンセラーや市教育・家庭相談員、市中間教室、児童相談所、医療機関、特別支援学校等の諸機関との連携をさらに進めると共に、外部機関を交えた支援会議を企画し、連携した支援を強化する。

IV 心落ち着ける美しい環境づくり

- ◇落ちついて生活できる教室環境、学びやすい学習環境を整える。
- ◇破損など生徒自身が気づき、報告し、自ら直すとする良さを認め、生徒会の緑化営繕・清美委員会等、生徒が生活環境の向上に努めている良き伝統をさらに支援する。
- ◇脱いだ靴は揃える、席を立つときには椅子を入れるなど、基本的な生活習慣づくりを進める。

V 地域・小学校等との連携

- ◇SBSC（諏訪中文化スポーツクラブ）の基本理念「家庭・地域・学校が手を取り合っ子どもを育てる」を生かし、共に課題を協議しながら連携を進める。
- ◇中学生の地域への貢献や交流の機会の充実。
- ◇地域や小学校5・6年の保護者に参観日や文化祭・音楽会等への参観を呼びかける。
- ◇小中連携した学力向上、登校支援、生徒指導等への取り組みの充実。

VI 安全・安心のある学校づくり

- ◇危機管理意識を高め、早期発見・早期対応に努める。
- ◇ヒヤリ・ハットの事例から学びあい、常に改善していく。
- ◇校舎内外の安全点検、登下校の交通安全指導を充実する。
- ◇地震・火災等に備えての「防災計画」の見直しをPTA・地域と連携して進めると共に、防災教育を充実する。